

介護相談員派遣事業



介護相談員



ってどんな事業？

ってどんな人？

介護相談員は、介護サービスを提供しているところに訪問し、利用者や家族から介護サービスに関する疑問や不満などを聴いて、利用者の立場からサービス事業者に対して、サービスの向上を促す仕事をしています。

サービス事業者にとって、利用者のナマの声を聴くことは、自らサービスを改善する重要な手がかりになります。しかし、利用者としては、「お世話になっている」という気持ちから、不満があっても直接事業者には言いにくいことがあります。

介護相談員は、そんな利用者の気持ちをくみ取って、利用者と事業者の橋渡し役になっています。

どんな相談を受けていますか？

●実際の相談内容や、相談員の気づき、事業所の対応

相談・気づきの内容	事業所の説明・対応
食事の後でも談話できるソファがほしい。(利用者)	ダイルームの奥のスペースにテーブルが設置され、窓も設けられて明るい雰囲気になった。
楽しい会話がほしい。皆で語り合いながら楽しい人生を送りたい。(グループホーム利用者)	「ゆっくり、一緒に、楽しく」を理念にサービスすることを日々職員と話合っています。なかなか難しいことですが、これからも努力します。
入れ歯なのでフライや天ぷらは表面の衣しか食べない。油料理はほしくない。(施設入所者)	ご本人の好みを確認し、様子を見ながら代替料理の提供をお勧めします。
デイサービスに何人か、つっかけで来ている人がいる。ご本人の自由かもしれないが、安全第一なので靴を履くよう指導してほしい。(介護相談員)	歩行が不安定な方には、その都度、靴を勧めます。足に合う靴がないという方、靴を履く習慣がないという方は、職員が見守りしていきます。
職員が利用者にデザート注文を聞いていたが、利用者には理解できないのか、なかなか決まらない。現物を見てもらうかどうかと提案した。(介護相談員)	すぐ現物を見て注文してもらう。それからは、「見ればわかる、見て楽しむ、見ながら話す」の精神で、すべてのことに取り組んでいる様子。

介護相談員はどんな思いで活動していますか？

●介護相談員の感想

施設に入所されている方は、家族が会いに来てくれるのを一番の楽しみにしています。家族との語らいが心の安らぎであり、我が家に帰りたくて、いつか家族が迎えに来てくれると思いながら、それを支えに日々楽しみに待っています。しかし、介護を受け入れる家庭側もいろいろな悩みを抱えながら、結局は施設がお年寄りの終の棲家になっているのが現状のようです。

介護サービスに関するご意見、ご相談など、介護相談員にご連絡ください。
もちろん秘密は守ります。

問い合わせ先

福祉課

☎73-1333 FAX73-1344

介護相談員を

募集します

岩美町では、介護サービスの質の向上を目指して介護相談員派遣事業を行っています。現在、3人の介護相談員が活動しています。さらに事業を充実させるため、協力していただける方を次のとおり募集します。介護や福祉に関心のある方の応募をお待ちしています。

◆介護相談員の仕事

老人ホームやグループホームなどに月に2回程度通い、利用者や事業者の間の橋渡し役となつて、利用者の疑問や不満、心配ごとなどに対応し、サービスを改善を促します。
(ボランティア活動ですが、若干の謝礼があります。)

◆相談員養成研修の受講

事業に必要な知識を得るため介護相談員養成研修を受講していただきます。
(日程は未定です。)

◆応募資格及び募集人数

右記の活動が可能で、ボランティア意識のある成人の町民……若干名
(簡単な面接により選考します。)

◆応募の方法及び締め切り

住所、氏名、年齢に応募の動機、福祉に関するご意見など(400字×1,200字程度)を添えて、郵便、ファックスで、10月31日(月)までに福祉課へ申し込んでください。
(様式は自由)

問い合わせ先

〒681-0003 岩美町浦富1-029-2
岩美すこやかセンター内 岩美町福祉課
☎73-1333 FAX73-1344